

2012年7月8日 日曜日 午後2時から
第6回 A Little Bit Concert を
開催させていただきました



A Little Bit Concert vol.6

神奈川フィルハーモニー管弦楽団のみなさんとの初めてのコラボレーション企画。ご承知のように、神奈川フィルハーモニー管弦楽団は、神奈川県内で唯一のプロフェッショナル・オーケストラ。今年度から、ヨコハマポर्टサイド地区において、さらに「地域密着型の活動を」ということから、市民のみなさんや地企のみなさんとの新しいコラボレーションのスタイルや事業をつくり出していくための実験的な事業を企画・実行されていく予定でいらっしゃいます。まずは、弦楽四重奏団を特別編成してのすてきな演奏を聴かせていただきました。



アート縁日21

2012年は10月6日&7日で開催されました

天候は曇り→大雨→そして やっと最終日の午後「晴れ」。昨年の開催は天候に恵まれず、特に、テント会場にご出展のみなさまには、ご苦労をおかけしました（ご協力ありがとうございました）。



それでも、東日本大震災の被災地も含め、全国からたくさん出展者の方をお迎えしながら、いつものように、おだやかな「アート縁日」の2日間を過ごすことができました。重ねて御礼申し上げます。地区内からもたくさんのお来場者をお迎えすることができ、ご出展いただいた方もいらっしゃいました。またロア参拝館にある宮川香山・真嗣ミュージアムさんにも企画出展いただき、神奈川フィルハーモニー管弦楽団さんのブルーダル基金活動も行われました。最後になりましたが会場を提供いただいた ycs ビル、コンカード横浜さんにも心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

2012年11月10日

土曜日 午後2時から

再び神奈川フィルハーモニー管弦楽団で

第7回 A Little Bit Concert 開催！！

今回の曲目は、モーツァルトのディヴェルティメント K.136 より第3楽章、パッヘルベルのカノン、「マイ・フェア・レディ」より『譲り明かそう』、アメイジング・グレイス、そして、四季の詩（うた）～季節の唱歌メドレー～春がきた、春の小川、花、七夕、夏の思い出、小せい秋、赤とんぼ、たき火、雪、お正月へと、華やかさと親しみやすさが交差するとても贅沢なパフォーマンスになりました。演奏者のみなさんから会場のみなさんにクイズが出されているなど、小さな会場ならではのあたたかいひとときになりました。



発行日 2013年3月22日

編集 ヨコハマポर्टサイドA&Dコーディネーター事務局 電話 045-534-8879

U M I K A Z E

2013 M A R C H



ヨコハマポर्टサイド地区UMIKAZE

特集

かつて神奈川会館があった

関東大震災からの復興事業としての神奈川公園&神奈川会館

開催報告 アート縁日21 &
A Little Bit Concert Vol.6 Vol.7

発行：ヨコハマポर्टサイド街づくり協議会

かつて神奈川会館があった

関東大震災からの復興事業としての神奈川公園 & 神奈川会館



1955年(昭和30年)頃の神奈川会館



1923(大正12)年9月1日、この街を関東大震災が襲いました。マグニチュード7.9、相模湾を震源とするこの大震災は、東京よりも震源に近かった横浜での揺れが大きく、現在のゴートサイド地区あたりにも甚大な被害をもたらされました。神奈川公園(及び神奈川会館)は、その震災復興計画の一環として描かれたもの。震災の火災被害への反省から、宮庁街と、公園と遊歩道とを組み合わせた緑地ネットワークを都心部につくっていくとする、その北部の拠点として考えられたものでした。そして、1927(昭和2)年には工事が開始され、震災瓦礫等で基礎立てを補強してから、その上で樹木を植樹し、中央にはヨーロッパ風の噴水のある池が設けられました。そして、公園と同じ1930(昭和5)年に完成したのが神奈川会館です。鉄筋コンクリート4階建て。集會堂やホールがあり、一般的になりつつあったクラシックコンサートなども行われたようです。一方、会館内には、食堂でもあり、当時の人気メニューだったカレーやカツカツなどを食べることができ、ホール以上に人気のスポットだったようです。そうしたことから、昭和恐慌という経済環境にも関わらず、周辺住民にとってほとんど「自慢の場所」になっていったようです。



幸ヶ谷集会所

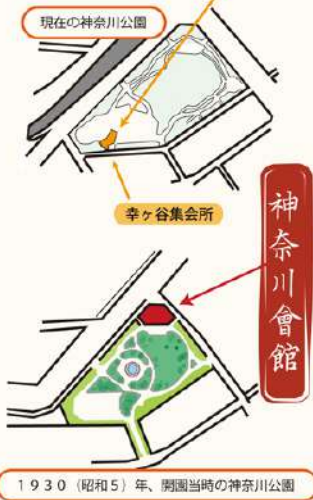
1983(昭和58)年、神奈川会館が取り壊されることになると、地域住民から、その存続を願って賛同が出され、後継施設として幸ヶ谷集会所が設置されました。

現在、かつて神奈川会館を飾っていたステンドグラスが幸ヶ谷集会所、幸ヶ谷公園コミュニティハウス(通称チェリーハウス)、横浜市立神奈川図書館の3ヶ所に保存されています。



神奈川図書館

かつての神奈川会館の室内意匠をとらえた写真(部分)。ドア上部に、神奈川図書館などに保存されているものと同様のステンドグラスがみえます。

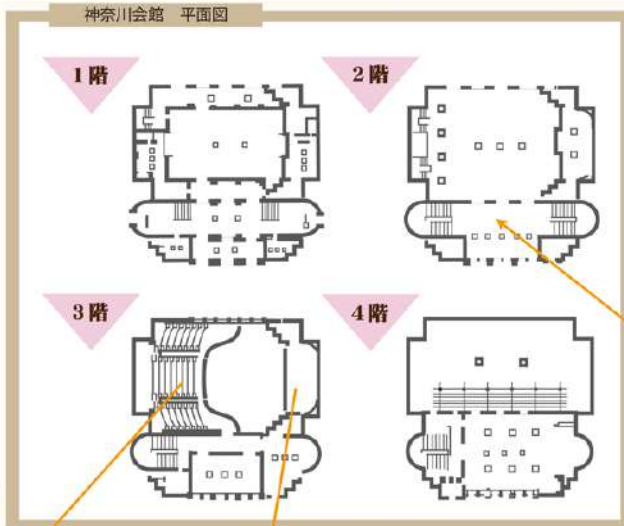


現在の神奈川公園

幸ヶ谷集会所

神奈川會館

1930(昭和5)年、開園当時の神奈川公園



神奈川会館 平面図

1階

2階

3階

4階



2階階段と踊り場



ホールは建物3階にありました。収容人数300人ほどのコンパクトなものでしたが馬蹄形に張り出した舞台は比較的豊かで、意匠も質沢なものでした。

1945(昭和20)年1月~5月の間に、神奈川公園周辺は5度以上の空襲に遭い、特に5月29日の横浜大空襲では壊滅的な打撃を受けます。コンクリートづくりだった神奈川会館はなんとか壊滅を免れますが、相応の被害を受けました。しかしながら、戦争終結の直後には連陸軍に接収され、充分な補修もままならぬまま、接収解除後も長期に使用され、老朽化への対応も遅れました。そうしたことから1983(昭和58)年、神奈川会館は、惜しまれつつ解体されました。

※写真は1980(昭和55)年頃の神奈川会館を撮影したもの。通話手を入れているとされ、この時点までの経緯、建設当時の様子も保たれていたかは不明です。

神奈川会館の様子をとらえた写真は幸ヶ谷集会所自治運営委員会のご好意により横浜市立神奈川図書館が所蔵する写真をお借りして掲載したものです。